

2.5 新庁舎の導入機能・性能の検討

新庁舎に導入を図る機能及び性能を、以下のように整理する。

(1) 窓口機能

ワンストップ窓口の検討など、証明発行等を目的に来庁した市民が、サービスを受けるのに迷ったり時間がかかったりすることがないスムーズに手続きを進めることができる窓口機能を整備する。

また、窓口での手続などが安心して快適に行えるよう、時期で異なる需要量に合わせたフレキシブルな仕組みや、プライバシーに十分配慮した計画とする。

◆具体イメージ◆

ワンストップ化	◆ 関連性のある業務別に窓口を一元化するなど、利便性の高い「窓口ワンストップ化」を行う。
待合スペース	◆ キッズスペースや情報発信スペースなど含め十分な待合スペースを確保する。
相談スペース	◆ プライバシーに配慮した個室、簡易相談スペースを確保する。
窓口カウンター	◆ 時期的な需要増減に合わせてフレキシブルに対応できる設えとする。 ◆ 各種申請に適したローカウンター及びハイカウンターを導入する。 ◆ 隣席とのプライバシーに配慮した仕切りを設置する。
窓口システム	◆ 窓口のワンストップ化に対応できるシステムを導入する。 ◆ デジタルデバイドの対策として、支所、市民センターと連携したサポート体制を構築する。



仕切りのある窓口カウンター（伊予市）



相談スペース（伊予市）

(8) 環境への配慮

環境に十分配慮した庁舎とするため、国土交通省が推進する環境負荷低減に配慮した官庁施設を目指し、自然エネルギーの積極的な活用や高効率な設備機器を導入した計画とする。
 また、建設後のライフサイクルコストの削減を目指し、建物の維持管理のしやすさにも配慮した計画とする。

◆具体イメージ◆

環境配慮	◆ 日射を考慮した建物の配置計画や屋上・壁面の活用など、周辺環境への負荷低減に配慮する。
省エネルギー化 脱炭素化	◆ 自然採光、換気や再生可能エネルギーの活用による省エネルギー化を行う。 ◆ <u>断熱性の向上やLED照明の導入などによる省エネルギー化を図り、太陽光発電等の利用により脱炭素化を行う。</u>
ライフサイクルコストの削減	◆ 耐久性に優れた材料の使用や、将来的に維持管理・修繕を行うことを前提とした構造を検討し、建物の長寿命化を目指した計画とする。
交通環境	◆ 車両の出入口や進入経路、バスの停車位置の工夫により想定される渋滞を緩和する。



屋上に太陽光パネルの設置（平塚市）



環境負荷低減に配慮した官庁施設のイメージ（国土交通省 HP）

(9) 歴史・文化・景観への配慮

対象敷地周辺は、岸和田市有数の歴史資源である岸和田城が隣接しており、また、だんじり祭における宮入のルートにも接している。これらの歴史・文化・景観を損なわないよう、十分配慮した計画とする。

◆具体イメージ◆

歴史・文化・景観への配慮

- ◆ 歴史的まちなみ、岸和田城および庭園、周辺石垣などの歴史や景観(城側からの眺望景観を含む)に配慮するとともに、併せてだんじり祭などの地域に根付いた文化にも配慮する。
- ◆ 岸和田城を中心とした周辺エリアの緑地形成について配慮する。



現庁舎4階から見る岸和田城



だんじり祭（こなから坂）

(10) 市民交流・情報発信機能

市民が多目的に利用できるような市民交流スペースや、来庁者が市政などの情報を共有できるよう、各種情報を発信するスペースの確保を検討する。

◆具体イメージ◆

市民交流

- ◆ エントランス周辺や待合スペースなど、市民交流含め多目的に活用できるスペースを設置する。
- ◆ 必要に応じてカフェやコンビニ、イートインスペースなどの機能の導入を検討する。
- ◆ 非常時や災害時等にも活用できるよう空間をフレキシブルに使用する。

情報発信

- ◆ 電子掲示板等による市政情報や防災関連情報発信可能な設備を備えた施設とする。
- ◆ 就労困難者への支援のためのハローワークコーナーを併設する。



広い空間を確保したエントランス（北本市）



電子掲示板による情報発信（伊予市）